

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療社会事業従事者(医療ソーシャルワーカー)指導強化費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度		担当課室	がん対策・健康増進課保健指導室		尾田 進		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-6 地域の保健医療体制を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療技術の高度化、専門分野及び福祉政策の拡充等に伴う社会保障制度全般の複雑化、多様化に対応できるように、地域における指導者を養成し、医療社会従事者全体の資質向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療社会従事者の指導者研修を国立保健医療科学院において実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
	執行額	0.5	0.3	0.6	/			
	執行率(%)	62.5	37.5	75	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	医療ソーシャルワーカー研修参加者数	成果実績	人	81	91	95	対前年度以上	
		達成度	%	100	100	100	/	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	医療ソーシャルワーカー研修回数	活動実績 (当初見込み)	人	2	2	2	—	
					—	()	()	()
単位当たりコスト	6,316(円/成果実績)		算出根拠	平成23年度執行額/平成23年度医療ソーシャルワーカー研修参加者数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	0.8	0.8					
	計	0.8	0.8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、国において研修内容を定め、実施する必要がある。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	研修に係る謝金、旅費、消耗品等に係る支出を抑えたこと等により不用が生じた。
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	研修参加人数の増加により、単位あたりのコスト削減に努めている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	医療ソーシャルワーカーの資質向上のための研修経費としている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	医療ソーシャルワーカー研修参加者数について、前年度より増加しており、患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進することは重要なことから、実効性の高い手段となっていると言える。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	医療ソーシャルワーカー研修参加者数について、前年度より増加していることから、成果目標は達成していると言える。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	医療ソーシャルワーカー研修回数は、当初の見込みに見合ったものである。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
点検結果	患者等が安心して退院、社会復帰できる体制づくりを推進するため、継続的に医療ソーシャルワーカーの資質向上に取り組む必要があり、研修参加者数など成果も増加してきていることから、今後も引き続き、推進すべき事業と判断するが、研修に係る謝金、旅費、消耗品等に係る支出を抑えたこと等により一定の不用が生じた。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、毎年度恒常的に不用が生じているものの、地域における指導者を養成するための研修等に必要な経費であり、事業内容及び予算規模を維持すべきであるが、引き続き、効率的な予算執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	0273

厚生労働省
0.6百万円

医療ソーシャルワーカー研修の執
行管理

A.国立保健医療科学院
0.6百万円

研修に係る諸謝金、旅費、消耗品費

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立保健医療科学院	医療社会従事者の指導者研修の実施	1		